

株式会社ファミリーマート御中

夢の掛け橋募金 2023年第3・4四半期報告書

国連WFP

ミャンマー・ウクライナにおける緊急支援

特定非営利活動法人

国際連合世界食糧計画WFP協会

目次

1. はじめに
2. 国連WFPの活動
3. ご寄付の使途について
4. ミャンマー（現地の状況・国連WFPからの支援）
5. ウクライナ（現地の状況・国連WFPからの支援）

はじめに：ご支援の御礼

国連WFPは、飢餓をゼロにすることを使命に活動しています。

平素より国連WFPの活動に温かいご協力を賜り、誠にありがとうございます。

ファミリーマートをご利用のお客さまや、各店舗スタッフの皆さまのご理解とご協力により、**ミャンマー、ウクライナ**、の2国への緊急支援として「ファミリーマート夢の掛け橋募金」2023年度第3・4四半期中、**33,048,177円**のご寄付をいただきました。

皆様からのご寄付は国連WFPを通じて人々の命へとつながっています。

これからも温かいご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

国連WFPの活動



飢餓から 救う。

◎緊急支援

輸送・通信支援

防災・減災

未来を 救う。

◎母子栄養支援

◎学校給食支援

自立支援

現金支給

社会保障

気候変動への対応

持続可能な暮らしの強化

サプライチェーン

パートナーシップ

緊急支援

国連WFPは紛争、自然災害やパンデミックなど様々な緊急事態に率先して対応する組織です。

世界中どこへでも48時間以内に最初の食料を届けることを目指して活動し、その後迅速に支援を拡大します。



緊急支援は食料支援、現金支給、栄養補給、学校給食支援など様々な支援の仕方を組み合わせます。

輸送・通信支援

私たちは国連のロジスティックス（物資輸送）チームのリーダーとして、紛争・災害地域に救援物資を届ける役割を担っています。また、緊急通信の面においても、遠隔地域における情報通信サービスを提供しています。

国連WFPは国連人道支援航空サービス (UNHAS) および国連人道支援物資備蓄庫 (UNHRD) を管理しており、

この2つのサービスを通して国連機関・NGOの職員や支援物資が最も必要な場所に行きつくように努めています。



学校給食支援

学校給食は子どもたちの栄養状態や健康を改善し、将来を大きく左右する教育への道を開きます。

学校給食は可能な限り現地で調達され、小規模農家の生計を支えると同時に地域経済へのプラスの影響も与えています。

また、私たちは現地のパートナーと協力し、マラリア予



防や生理衛生用品、衛生基準についての指導など、子どもたちに必要な健康・栄養サービスを提供しています。

母子栄養支援

栄養状態の改善は、国連WFPの活動において大変重要な課題です。近年、私たちの活動は緊急支援に留まらず、ビタミン・ミネラル不足や肥満から発生する栄養不良の治癒にも努めています。

国連WFPは幼い子ども、妊産婦やHIVとともに暮らす人々へ健康的かつ十分な食事を提供します。また、お母さんの

お腹に子どもが宿ってから1,000日間の栄養が重要とされており、早い段階から母子支援を実施しています。



現金支給

国連WFPは紙幣、食料引換券、電子マネー、モバイルマネーやデビットカードなど、多様な手段を通して受益者に現金支給を行っています。

現金支給は、人々に必要な物資を購入する自由を提供することで、自身で「選択を行う」機会が増加し、

自立心の向上にも繋がります。

また、小規模農家の生産性向上や地域経済の活性化に寄与します。



自立支援

国連WFPは地域住民に土地の修復、井戸や道路作りなどの公共事業に参画してもらう対価として、食料・現金、気候リスクに対する保険の提供を行っています。

公共事業は、災害対応力を上げることに繋がり、住民の生活を守ることに寄与します。

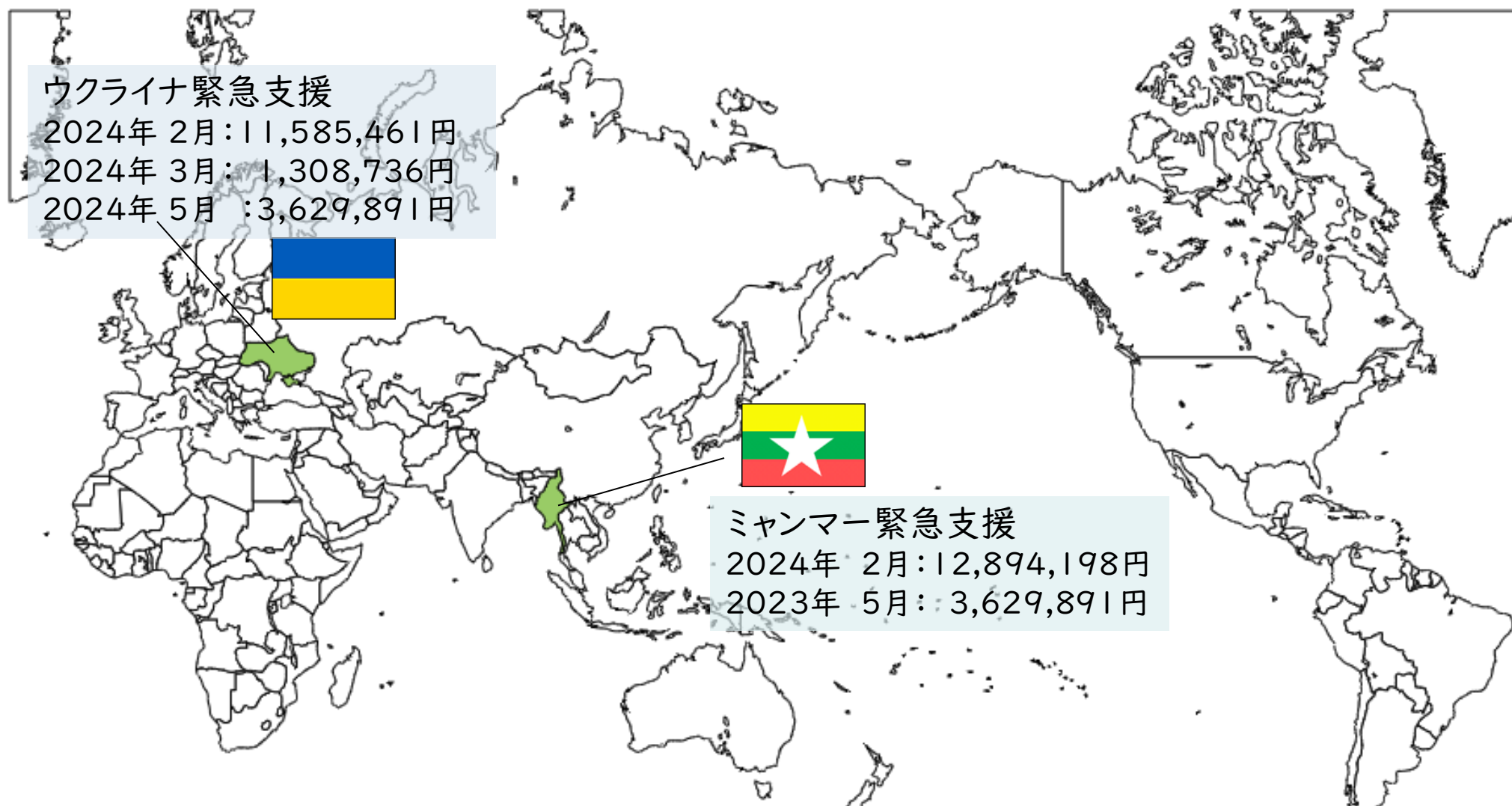
また、自立支援の一環として、穀物バンクや備蓄食料の管理、養蜂や堆肥作りなどの技術訓練も行っています。



ご報告



ご寄付の使途について



プログラムスタート時からのご寄付総額: 664,976,518円

ミャンマーの現状

- 2021年2月の軍事政権掌握以来、ミャンマー全土で紛争が起き、国民の命が危険にさらされている。
- 紛争の影響を受けた地域では、特に食料不安が深刻化している。
 - 銀行、医療、教育、交通などの分野で大きな混乱が起きている
- 5歳未満の子どもの約4人に1人が発育阻害（年齢の割に身長が低い）
- 2024年には複数の洪水被害に見舞われ、台風「ヤギ」では推定100万人に壊滅的な被害をもたらした。



地図出典：外務省

学校給食支援 概要

課題

- 2021年の軍事政権掌握以来続く紛争により、子どもたちが教育や栄養価の高い食料にアクセスできていない
- 600万人の子どもたちが人道的支援を必要としている
- 学校が軍事利用されることもあり、370万人以上の子どもたちが学校に通えていない
- 貧困と家計の収入不足が学校中退の主な理由となっている



© WFP/Srawan Shrestha

学校給食支援 概要

目的

- 栄養価の高い食事と教育へのアクセス改善

支援対象

- 食料不足が最も深刻な地域の就学前の子どもと小学生

背景

- 軍事政権発足以前は学校給食の国営化に取り組んでいた
- 現在は地域に密着した地産地消型の学校給食支援に重点が移動している



© WFP/Srawan Shrestha

学校給食支援 データ

支援者数

- ・ 就学前児童及び小学生140,600人

支援内容

- ・ 87%: 栄養強化ビスケット
- ・ 13%: 調理済みの温かい食事

支援の効果

- ・ 生徒の学校定着率
 - 国連WFP支援校: 94%
 - 全国平均: 75%



© WFP/Mehedi Rahman

ウクライナの現状

背景

- ロシアによる継続的な攻撃でウクライナの人道状況は依然厳しい。
- 住宅地・重要インフラへの空爆が続き、食料安全保障が深刻な問題に。
- 2024年7月8日には、キーウ、ドニプロ、クリヴィー・リフ、ハルキウなど複数都市が大規模なミサイル攻撃を受け、多数の民間人が犠牲に。
- 特に、キーウの国内最大の小児病院が損傷を受けたことは大きな衝撃となった。
- 前線地域では今もなお激しい砲撃が続き、多くの人々が避難生活を余儀なくされている。



地図出典：外務省

エネルギーと生活インフラへの影響

- エネルギー供給は不安定で、冬季には1日最大20時間の停電も想定される。
- 原子力発電所の定期整備と送電網の修復が進行中だが、継続的な攻撃により遅延のリスクが高まっている。

国連WFPによる支援状況

2024年累計

- 食料支援量: 77,501トン
- 現金支援総額: 9,620万米ドル
- 支援対象者: 毎月平均200万人以上

2024年6月の実績

- 食料支援: 120万人以上
- 現金支援: 51万人 (約990万米ドル)



国連WFPによる支援内容

- 現物食料支援(2024年6月)
 - 支援内容:パン、緊急食料、学校給食など
 - 対象地域:前線地域や市場アクセス困難地域
- 現金支援(Cash-Based Transfers)
 - 支援総額:9.9百万米ドル
 - 支援対象:511,000人
- 学校給食支援
 - 対象:6~11歳の学齢期の子ども
 - 支援内容:給食費用の30%を学校に対して月次で支援
 - 対象地域:13地域

地域経済・農業支援の取り組み

- 小規模パン屋支援プロジェクト
 - 地域：ドニプロ、ドネツク、ハルキウ、ムィコライウ、ザポリッジャ
 - 成果：WFPのパン需要の33%を12軒のパン屋が供給
 - 支援内容：機材提供、発電機配布
- 地雷除去と農業支援（FAOとの協働）
 - 対象地域：ハルキウ、ミコライウ
 - 内容：地雷除去→農地の再利用、農業資材支援
 - 目的：農村部の生計回復





ご支援いただき
ありがとうございました。

NPO法人国連WFP協会 企業・団体連携チーム
kigyo@jawfp.org
045-221-2515

